

各地域における取組

1 北足立地域における地産地消の取組状況

1 令和7年度重点目標

- (1) ふるさと認証食品及び県産農産物サポート店の登録推進
- (2) 市町、農協等が実施する地産地消活動の支援及び地元農産物PR活動の推進
- (3) 農商工連携及び6次産業化の推進

2 令和7年度取組状況

月日・時期	取 組 状 況
通年	(1) ふるさと認証食品及び県産農産物サポート店の登録推進 県産農産物サポート店 新規登録12店舗 埼玉県ふるさと認証食品の推進 認証食品 新規登録1製品、更新7製品
6月11日	(2) 市町、農協等が実施する地産地消活動の支援及び地元農産物PR活動の推進
2月10日	○わっしょい大使による取材対応 埼玉わっしょい大使が鴻巣市のほ場（ガバレ農園）を取材し、インスタグラム等のSNSで有機農業のPR活動を行った。 埼玉わっしょい大使が新座市のほ場（いちごのパラム）を取材し、インスタグラム等のSNSでいちごのPR活動を行った。
通年	○市及び農業団体等が実施する地産地消活動の支援 市や農業団体等が実施する地域住民等を対象とした農業体験において、その活動を支援した。 さいたま市：水稻 朝霞市：じゃがいも、さつまいも、冬野菜（だいこん等） 【さいたま市】 ・田植え体験 日時：5月15日 参加人数：植水小学校 約70名 場所：さいたま市西区島根 ・稲刈り体験 日時：9月8日 参加人数：植水小学校 約70名 場所：さいたま市西区島根

	【朝霞市】 ・じゃがいも掘り 日時：6月14日 参加人数：100戸 場所：朝霞市北原 ・さつまいも掘り 日時：10月18日 参加人数：100戸 場所：朝霞市浜崎 ・冬野菜収穫体験 日時：1月24日 参加人数：100戸 場所：朝霞市根岸台
通年	(3) 農商工連携及び6次産業化の推進 ○埼玉県農商工連携フェア・農業発！新商品お披露目会への出展推進 管内の農業者・事業者への出展推進及び出展に対する支援（農商工連携フェア1団体、新商品お披露目会3団体）を行った。
8月26日	○6次産業化スキルアップ研修会の開催 6次産業化に取り組む農業者や希望する農業者に対して、下記の研修会を開催し、技術習得・向上支援を行った。 ・販路拡大研修会（57名参加） ・6次産業化研修会・交流会（12名参加）
1月26日	○新商品の開発 管内の生産者の加工品開発の支援を実施。
	 商品：天神味噌 アグリ&フーズ武正 (鴻巣市)  商品：いちごクラフトコー ラ・いちごジャムセット いちごのパラム (新座市)  商品：16歳の柚子胡椒～ 緑から生まれた緑～ 十色とうがらしファーム (さいたま市)

2 入間地域における地産地消の取組状況

1 令和7年度重点目標

- (1) 地元農産物のPR活動・販売支援
- (2) 6次産業化及び農商工連携の推進
- (3) 食育の推進

2 令和7年度取組状況

月日・時期	取 組 状 況
9月27日	(1) 地元農産物のPR活動・販売支援 ○わっしょい大使による取材対応 埼玉県わっしょい大使が川越市にある農産物直売所「福菜」を訪れ、直売所の取り組みや、里芋・さつまいも・落花生の収穫体験の様子を取材した。取材内容はInstagramにて発信し、直売所の農産物や収穫体験などのイベントのPR活動を実施した。   わっしょい大使の取材の様子
6月1日～ 10月31日	○三芳町産農産物の販売促進キャンペーンの実施 みよし野菜ブランド化推進研究会は、「みよし野菜ロゴマーク」を集めて応募すると地元産農産物等が当たる販売促進キャンペーンを実施した。
11月2日	○県民ふれあいフェスタにおける地域農産物の販売 川越市のウエスタ川越交流広場において開催された「県民ふれあいフェスタ」に対し後援を行って県産農産物の消費拡大を行った当日は、JAいるま野の「明日の農業担い手育成塾」の塾生が、入間地域内の研修ほ場で生産した農産物を販売した。



県民ふれあいフェスタの様子

通年

○各４ＨＣ活動等でのPR販売活動支援

・川越市４ＨＣ

春の農業まつり（４/29 川越市グリーンツーリズム拠点施設）

農業ふれあいまつり（11/23 川越市グリーンツーリズム拠点施設）

ファーマーズマーケット（12/7 ユニクス川越）

・ふじみ野市４ＨＣ

富士見市産業祭 野菜販売（10/23 富士見市役所）

ふじみ野市産業祭 野菜販売（11/3 福岡中央公園）

・所沢市４ＨＣ

所沢市農業祭（10/24、25 航空記念公園）

・狭山市４ＨＣ

狭山市農業祭 野菜販売（11/15 JA いるま野狭山支店）

・三芳町４ＨＣ

三芳町産業祭 野菜販売（11/9 三芳町役場）

・むさし４ＨＣ

第３回鎮守の杜ネイチャーコンサートマルシェ（5/25 高麗神社）

スマイルフェスタ（9/27 ウィズもろやま）

2月5日

(2) 6次産業化及び農商工連携の推進

○農業の6次産業化研修会の実施

6次産業化に取り組む農業者等に対して、食品の製造販売に必要な食品表示についての基礎的な知識の理解を深めるため、講師を招いて研修会を実施した（４１名参加）。



「知らないといけない！！食品表示の実際」研修会

12月2日

○埼玉県農商工連携フェア（6次）における出展支援
管内事業者等への出展推進及び4事業者への出展支援を行った。



農商工連携フェアお披露目会の様子

通年

○ふるさと認証食品の認証
更新7製品



吾野産はちみつ（(株)金子組）



小江戸黒豚 ベーコン（有限会社
大野農場）

通年		
	小江戸黒豚 布巻ロースハム（有限会社 大野農場）	小江戸黒豚 フランクフルター（有限会社 大野農場）
		
	小江戸黒豚 生ハムスライス（有限会社 大野農場）	無添加ふじみ育ち（株式会社 手づくり村）
		
	加藤ファームの丸大豆みそ（有限会社 加藤ファーム）	
	(3) 食育の推進 ○埼玉農産物の魅力再発見食育推進事業の活用支援 狭山市の保健センターが実施する食育推進活動に対する国庫補助事業の円滑な活用を図るため、適宜サポートを行った。	

3 比企地域における地産地消の取組状況

1 令和7年度重点目標

- (1) 農産物直売所等を活用した地元農産物PR活動の推進
- (2) 市町村、農協等が実施する地産地消活動の支援
- (3) 食育の推進
- (4) 地元農産物の加工利用推進

2 令和7年度取組状況

月日・時期	取組状況
12月 ～1月	(1) 農産物直売所等を活用した地元農産物PR活動の推進 ○浦和競馬場での地元農産物の販売・PR 浦和競馬令和7年度第9回開催（12月22～25日）において東松山市、吉見町及びときがわ町、また、第10回開催（1月6日～9日）において川島町が、それぞれ冠レースの施行、優勝者（馬主）への副賞品（地元農産物加工品）の提供を行うとともに、地元農産物の販売及びPRを行った。   浦和競馬場内での地元農産物等販売風景（写真左：吉見町、右ときがわ町）
12月18 日、19 日	(2) 市町村、農協等が実施する地産地消活動支援 ○比企地域における農産物直売所の活性化支援 JA埼玉中央農協が自ら開設している農産物直売所の活性化を図るため、毎年度実施している「JA埼玉中央農産物直売所コンテスト」に当センター職員2名が審査員として参加し、農産物直売所の活性化を支援した。  令和7年度 農産物直売所コンテスト 埼玉中央農協農産物直売所 連絡協議会

(3) 食育の推進

○埼玉農産物の魅力再発見食育推進事業

鳩山町は、令和7年度埼玉農産物の魅力再発見食育推進事業を活用し、食育推進リーダーの育成や活動促進、食育教室を開催した。



9月23日

○東松山市「こども農業塾」

東松山市では、こどもたちが農業と食の大切さを学ぶ機会を設けるため、こども農業塾「みかんの摘果体験」を開催した。



参加者への解説資料
(講師：農業支援部)

こども農業塾チラシ

7月31日

(4) 地元農産物の加工利用推進

○ピクルス作り研修会

管内女性農業者を対象に、地場産野菜を使用したピクルス作り研修会を開催した。株式会社島野造園東松山ふおれ職員を講師に招き、地産地消等についての座学講義、実技としてピクルス作りが行われた。



研修会の様子

11月8日

○地域大学との連携（武蔵丘短期大）

東松山地区農村女性アドバイザー連絡会「農の華会」が吉見町の武蔵丘短期大学学園祭に出店し地元農産物や加工品の販売を行った。

また、同大学と東松山ふおれがコラボをしてフルーツ（なし、かき、キウイフルーツ）のピクルスの新商品が開発された。



株式会社島野造園 東松山ふおれ
フルーツピクルス



武蔵丘短期大学
学園祭出店の様子

12月2日

○6次化商品の販売促進

「株式会社島野造園 東松山ふおれ」と「ときがわ山椒栽培協議会」は県で開催している農商工連携フェアの6次産業化取組者を対象とした「新商品お披露目会」への参加し、販売促進商品開発に係る意識や知識の向上を図った。



株式会社島野造園
東松山ふおれ



ときがわ山椒栽培協議会

通年

○ふるさと認証食品の推進

継続認証 12件 新規認証 2件



新規認証商品

JA 埼玉中央
比企みかんジェラート

西澤屋
手づくりみそ（青ラベル）

4 秩父地域における地産地消の取組状況

1 令和7年度重点目標

- (1) 地産地消運動の普及・啓発
- (2) 6次産業化及び農商工連携による地産地消の推進
- (3) ふるさと認証食品及び県産農産物サポート店の登録推進及び継続

2 令和7年度取組状況

月日・時期	取組状況
4月20日	(1) 地産地消の普及・啓発 ○秩父鉄道及び秩父観光農林業協会と連携した秩父のいちごのPR（秩父鉄道SLちちぶストロベリーエクスプレス） 
5月31日	○第17回里山まるマルシェ（横瀬町）における秩父地域産農産物（きゅうり及び茶）のPR アンケート回答者にきゅうりの無料配布を実施（併せてS-GAPのPRも実施）。また、抽選会の景品として紅茶を出品。 
6月21日	○秩父鉄道及び秩父観光農林業協会と連携した秩父産ブルーベリーのPR（秩父鉄道SLブルーベリーエクスプレス） 
9月14日	○秩父鉄道及び秩父観光農林業協会と連携した秩父地域産シャインマスカットのPR（秩父鉄道SLシャインマスカット郷）

11月9日



○尾ノ内溪谷紅葉祭（小鹿野町）における秩父地域産農産物（かぼす）のPR

アンケート回答者にかぼすの無料配布を実施（併せてS-GAPのPRも実施）。



11月22日

○第18回里山まるマルシェ（横瀬町）における秩父地域産農産物（米、ゆず、かぼす、茶）のPR

棚田及び中山間地域における農業のPRとして、来場者に秩父地域の中山間地域で栽培されたゆず及びかぼす、寺坂棚田（横瀬町）で生産された米のプレゼントを実施し、抽選会の景品として紅茶を出品。併せて、パネルや資料を用いて、来場者に秩父地域の中山間地における農業の取組を紹介。



1月8日

○道の駅果樹公園あしがくぼ 氷柱イベント（横瀬町）における秩父地域産農産物（米）のPR

棚田における農業のPRとして、来場者に横瀬町寺坂棚田で生産された米の無料配布を実施。

	1月18日 ○道の駅みなの 秩父観光農林業協会と連携した秩父のいちごのPR 直売所を訪れた消費者に対して、いちごの試食販売を実施。 1月20日 ○「埼玉わっしょい大使」による取材対応 「埼玉わっしょい大使」が「埼玉県きのこ振興会（原木しいたけ）」のほ場を取材し、Instagram等のSNSでPR活動を行った。
12月2日	(2) 6次産業化及び農商工連携による地産地消の推進 ○令和7年埼玉県農商工連携フェア、農業発！新商品お披露目会 管内農業者等への出展推進及び出展に対する支援を実施（農商工連携フェア出展者：2事業者、農業発！新商品お披露目会出展：1事業者）。

通年	○新商品の開発 管内生産者の加工品開発の支援を実施。   弓削田醤油薫る 秩父きゅうり あまりん いちごジャム    横瀬のプラムティー 山合和紅茶 クラフトコーラ 武甲山ラムネ 横瀬の紅茶味
12月17日	○6次産業化研修会の開催 秩父地域における農業の6次産業化事業者及び志向者に対して商品開発の基礎知識習得を目的として「6次産業化 これから取り組む皆さんへ」というテーマで講演会を開催した。（参加者19名）。
通年	(3) ふるさと認証食品及び県産農産物サポート店の登録推進及び継続 ○ふるさと認証食品の認証 更新12製品（うちプレミアム2製品）     (有)戸田乳業 ちちぶトダミルク！（1000cc）、 秩父トダミルク！（200cc、250cc）、 彩の国牛乳（200cc）

	(株)ちちぶ観光機構 いちごジャム ルバーブジャム	中島 純夫 王冠蜂みつ
	ちちぶ丸山農園 秩父きゅうりぴくるす（白） 秩父きゅうりぴくるす（赤） 秩父きゅうりレリッシュ	
	JA ちちぶ ちちぶ菜漬 しゃくし菜漬	(有)秩父ワイン 秩父ワイン源作印 山ぶどう 2019

5 児玉地域における地産地消の取組状況

1 令和7年度重点目標

- (1) 地元農産物PR活動の支援
- (2) 市町、農協等が実施する地産地消運動の支援
- (3) ふるさと認証食品及び県産農産物サポート店の登録推進
- (4) 6次産業化及び農商工連携の推進

2 令和7年度取組状況

月日・時期	取 組 状 況
10月27日	(1) 地元農産物PR活動の支援 ○埼玉わっしょい大使によるInstagram投稿の支援 埼玉わっしょい大使によるInstagramの投稿を活用し、美里町のえごまをPRした。 Instagramの投稿にあたっては、埼玉わっしょい大使の取材先となるほ場や取材行程の調整、資料作成、取材時のほ場案内等の支援を行った。     埼玉わっしょい大使が美里 EGOMA ファームと円良田特産センターを取材している様子
5月31日	(2) 市町、農協等が実施する地産地消運動の支援
7月26日	○農業活動体験への支援
11月15日	管内市町や農協が実施する地域住民等を対象とした農業活動体験を支援した。
	・上里小麦栽培体験教室 品 目：麦 内 容：刈り取り、収穫祭、種まき、麦踏みと除草

2月7日	参加者：上里町内の小学生とその保護者 場 所：上里町堤地内
6月22日 7月6日 10月13日	・ J A 田んぼオーナー収穫体験 品 目：水稻、とうもろこし 内 容：田植え、収穫 参加者：県内及び都内の親子 場 所：上里町勅使河原地内
7月18日 8月15日 10月17日 2月9日	○地元農産物PRイベントに関する情報発信 ブルーベリー、なし、米、いちごといった、管内市町や農協が実施する旬の地元農産物のPRイベントに関する情報をフェイスブックで発信した。
通年	(3) ふるさと認証食品及び県産農産物サポート店の登録推進 ○県産農産物サポート店の新規登録（1店舗） F r i F r e 本庄市早稲田の杜4-2-2 【本庄市の矢島農園で生産されたあまりんを使用したデザート】 ・ あまりんパフェ ・ あまりんのモンブラン ・ あまりん和柑橘のクレープ ・ あまりんのショートケーキ
通年	○ふるさと認証食品の認証（新規0製品、継続4製品）  海北養魚場（本庄市） 自家生産しているもろこを使用した「彩のほんもろこ」



パン工房 ハイジ（上里町）
上里町で生産された小麦、卵を使用したシフォンケーキ



松本忠康 氏（美里町）
自園栽培のブルーベリーを使用したフルーツソース

12 月 3 日

(4) 6 次産業化及び農商工連携の推進

○埼玉県農商工連携フェアにおける新商品お披露目会の出展支援

農業発！新商品お披露目会の出展推進を行い、出展を希望した上里町の 1 経営体に対し、バイヤー目線の F C P シートの作成を支援した。

当日、出展者は商品の F C P シートやパネル、サンプル品を用いて来場者に商品 P R を行った。



出展者：㈱アスパラファーム
商 品：アスパラアイス

12 月 3 日

○埼玉県農商工連携フェアの出展推進

管内の農業者や食品事業者に対し、埼玉県農商工連携フェアの出展推進を行った。

当日は本庄市の株式会社ファームサイドと上里町有機 JAS 部会が
出展し、パネルやサンプル品を用いて来場者と商談や情報交換を行った。



会場の様子

6 大里地域における地産地消の取組状況

1 令和7年度重点目標

- (1) 地産地消運動の推進
- (2) 地場産農産物の加工利用促進
- (3) 食育の推進
- (4) ふるさと認証食品及び県産農産物サポート店の登録推進

2 令和7年度取組状況

月日・時期	取 組 状 況
7月17日 11月10日 12月11日	(1) 地産地消運動の推進 ○埼玉わっしょい大使による地元農産物のPR 埼玉わっしょい大使が実際にほ場等を見学し、その様子を各自がインスタグラムに投稿することで県産農産物のPRが図られた。 ・熊谷市：ナイストライかぼちゃ、やまといも、青果市場 ・深谷市：ゆり、丸系ハツ頭    わっしょい大使による取材の様子
3月12日	(2) 地場産農産物の加工利用促進 ○6次産業化研修会（ブロッコリーの加工）の開催 令和8年3月12日に6次産業化に係る研修会として、管内露地野菜生産者を対象とした加工技術研修会を開催した。未利用の規格外野菜の6次産業化について意識啓発することを目的とし、露地野菜生産者やJAあわせて14人が参加した。 講師として6次産業化サポーターを招き、ブロッコリーの栄養や加工品としての特性、商品開発の手順を内容とした講義を行った。その後、講師が考案したレシピをもとにブロッコリーのポタージュ、ブロッコリーのピクルスを班ごとに調理し、参加した生産者等で試食・情報交換を行った。

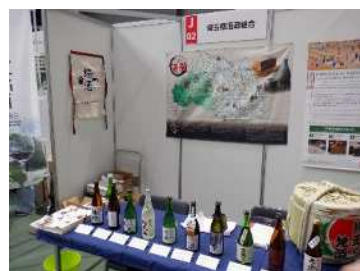


加工技術研修会の様子およびブロッコリーのポタージュ

2月2日

○農商工連携フェアにおけるPR

6次産業化商品PRのため、大里管内から21団体が展示商談会に出展を行い、地元農産物の消費拡大の推進に貢献した。「農業発！新商品お披露目会」には1団体出展し、「Made in SAITAMA 優良食品大賞2026」では、最終選考に2商品が選ばれた。



展示商談会の様子および最終選考商品

5月～2月

(3) 食育の推進

○「みどりの学校ファーム」実施校への資材等提供

管内の小・中学校では、農業体験を通じて自然や食物に対する様々なことに理解を深めるため、学校単位で農園を設置しており、必要な資材提供を行っている。授業では、種まき等から収穫までの作業過程を経験する。生徒自らが収穫した農作物を給食の食材として使用している学校もある。

自分たちで育て、食べることを経験することは、食育として学ぶよい機会となっている。



小学校での農作業体験の様子

通年

(4) ふるさと認証食品及び県産農産物サポート店の登録推進

○ふるさと認証食品 トマトジャムなど継続認証6製品



ヨウダトマト園「とまとジャム 100%」 マルツ食品株式会社「秩父きゅうりしょうゆ漬け」

○県産農産物サポート店新規登録数 5店舗

庵（熊谷市）、百歳農園食堂（熊谷市）、中村牧場（熊谷市）

PORK LABO（熊谷市）、たんぽぽ（寄居町）

7 加須地域における地産地消の取組状況

1 令和7年度重点目標

- (1) 地産地消の取組による消費者への理解の促進
- (2) ブランド農産物のPRによる地産地消の推進
- (3) 地場農産物の加工品の開発

2 令和7年度取組状況

月日・時期	取組状況
通年	(1) 地産地消の取組による消費者への理解の促進 ○埼玉県ふるさと認証食品の推進 認証件数6件（新規 0件 継続6件）   遠藤農園 アイス4種 清水酒造株式会社 きさいの穂
2月～	(2) ブランド農産物のPRによる地産地消の推進 2月に埼玉スタジアム2002で開催された「埼玉いちご祭」では、北川辺いちご部と株式会社げんき農場が参加した。多くの来場者で賑わい、大いに盛り上がった。  出店の様子 (3) 地場農産物の加工品の開発 ○加須市役所内で月1回、農家の『手作り加工品』をPR販売 「加須市6次化商品販促グループ」は、第3火曜日の正午から午後1時までの間、会員が開発・製造した商品を持ち寄って、市役所職員や来庁中の市民の皆さんに販売した。販売したホンモロコ煮付け、ジャム、

ドライフルーツ、団子など、来場した購入者に好評だった。



販売会の様子

通年

○ 6次産業化商品の新規開発支援

6次産業化商品の加工、販売を新規で行う取組を支援した。当センターでは販路拡大の支援として、「令和7年度農業発！新商品お披露目会」出展の支援を行った。

開発された商品は自社のほか、管内の直売所でも販売され、売れ行きは好評であった。



株式会社ケンゾー
あまりんようかん



株式会社げんき農場
いちご紅茶



株式会社あずさファーム
梨の生ジャム

5月～2月 (4) 食育の推進

○ 「みどりの学校ファーム」実施校への資材等提供

自然や食についての学習のため、小・中学校では学校単位で農園を設置しており、この際の活動に必要な資材提供を行った。授業では、種まき等から収穫までの作業を体験しており、加須市立志多見小学校では、4～6年生を対象に田植えや稲刈り、さらに収穫したお米を使用した収穫祭も行った。実際に作業を体験することで自然や食について学ぶ良い機会となっている。



小学校での田植え体験の様子

8 春日部地域における地産地消の取組状況

1 令和7年度重点目標

- (1) ブランド農産物の販売促進
- (2) 6次産業化の支援活動
- (3) ふるさと認証食品及び県産農産物サポート店の登録推進

2 令和7年度取組状況

月日・時期	取 組 状 況
4月8日	(1) ブランド農産物の販売促進 埼玉わっしょい大使や埼玉県広報アンバサダーの情報発信力を活用して、管内農産物の魅力を広くPRした。 ① 三郷市がブランド化を進める「三郷ジューシーあすぱら」 埼玉わっしょい大使3名が、三郷市がブランド化を進めている「三郷ジューシーあすぱら」（「採りっきり栽培」という新しい栽培方法のアスパラガス）を栽培している石井信行氏の生産ほ場を訪れ、ほ場見学、収穫体験、試食等を行い、美味しさを堪能しながら、取材や写真・動画撮影などを行った。その後、JAさいかつ農産物直売所「べじ太くん」で、三郷市産農産物の販売状況などを見学・取材し、これらの様子が大使のInstagramによって広く情報発信され、ブランド化の後押しにつながった。  ほ場の見学&取材  「三郷ジューシーあすぱら」の試食  直売所「べじ太くん」の見学&取材

8月20日

② 久喜市の本県ブランド梨「彩玉」

埼玉わっしょい大使4名と埼玉県広報アンバサダー5組6名が、久喜市の「梨の大澤農園」を訪れ、本県ブランド梨「彩玉」などのほ場を見学し、収穫体験や試食等を行い、みずみずしい甘さを実感しながら、取材や写真・動画撮影などを行った。その後、「JA南彩菖蒲グリーンセンター」の農産物直売所や梨選果場を訪れ、梨をはじめ久喜市産農産物の販売状況や梨の選果システムなどについて見学・取材し、これらの様子が大使やアンバサダーのInstagramによって広く情報発信された。



「彩玉」栽培ほ場の見学&取材



農産物直売所の見学&取材

3月19日

③ 杉戸町の本県ブランドいちご「あまりん」

埼玉わっしょい大使4名が、杉戸町のいちご農園「シュウアイファーム」(園主 内藤一夫氏)を訪れ、本県ブランドいちご「あまりん」をはじめとした数種類のいちごの摘み取り体験、試食等を行い、新鮮な甘さや美味しさを堪能しながら、取材や写真・動画撮影などを行った。

また、ほ場見学前には、杉戸町がリニューアルを進めている農林公園型道の駅「アグリパークゆめすぎと」を訪れ、シュウアイファームのいちごをはじめとした杉戸町産農産物の販売状況などを見学・取材し、これらの様子が大使のInstagramによって広く情報発信された。



ほ場の見学&取材



農産物直売所の見学&取材

(2) 6次産業化の支援活動

農業の6次産業化を支援するため、研修会の開催、新商品開発支援、商品PR支援を実施した。

7月22日

○ 研修会の開催

「ドライフルーツ加工のポイント」

参加者 21名

「商品に合わせた鮮度保持剤の選び方」

参加者 19名

2月3日

○ 新商品開発支援及び県事業推進

個別巡回により、事業者の取組に応じて、新商品開発支援、専門家相談や県事業推進を行った。

また、計画的な取組に向けて、事業計画書作成の推進及び作成支援を行った。

新商品開発 8品目

【主な新商品】



苺農家のグラノーラ
蓮田市・関根農園



壺焼き芋わたあめ
久喜市・渡邊梨園／
壺焼き芋なべちゃん

10月25日
～26日

○ 令和7年度埼玉県立大学清透祭

管内から4事業者が出展し、農産物や6次産業化商品の販売支援を行った。

【出展業者】

(株)OKASHIRA (春日部市)、(株)ヒロファーム (春日部市)、(有)おづつみ園 (春日部市)、渡邊梨園／壺焼き芋なべちゃん (久喜市)



(株)ヒロファーム



渡邊梨園／壺焼き芋なべちゃん

12月2日

○ 農業発！新商品お披露目会（県主催）

管内から3事業者が出展し、6次産業化の新商品をPRした。

【出展業者】

関根農園（蓮田市）、遊佐農場（越谷市）、渡邊梨園／壺焼き芋なべちゃん（久喜市）



関根農園



遊佐農場



渡邊梨園／壺焼き芋
なべちゃん

（3）ふるさと認証食品及び県産農産物サポート店の登録推進

○ ふるさと認証食品の認証推進

新規認証商品 10商品

更新商品 33商品

【新規認証の一例】



（株）あぐりスタジアム
「苺と糍のあいすくりーむ」



春日部内牧せんべい
「春日部笑顔」

○ 県産農産物サポート店の登録推進

新規登録店舗 0店舗

令和8年度 地域における地産地消運動の活動計画

地 域	重 点 目 標
さいたま	(1) ふるさと認証食品及び県産農産物サポート店の登録推進 (2) 市町、農協等が実施する地産地消活動の支援及び地元農産物 P R 活動の推進 (3) 農商工連携及び 6 次産業化の推進
入 間	(1) 地元農産物の P R 活動・販売支援 (2) 6 次産業化及び農商工連携の推進 (3) 食育の推進
比 企	(1) 農産物直売所等を活用した地元農産物 P R 活動の推進 (2) 市町村、農協等が実施する地産地消活動の支援 (3) 食育の推進 (4) 地元農産物の加工利用推進
秩 父	(1) 地産地消運動の普及・啓発 (2) 6 次産業化及び農商工連携による地産地消の推進 (3) ふるさと認証食品及び県産農産物サポート店の登録推進及び継続
児 玉	(1) 地元農産物 P R 活動の支援及び市町、農協等が実施する地産地消運動の支援 (2) ふるさと認証食品及び県産農産物サポート店の登録推進 (3) 6 次産業化及び農商工連携の推進
大 里	(1) 地産地消運動の推進 (2) 地場産農産物の加工利用促進 (3) 食育の推進 (4) ふるさと認証食品及び県産農産物サポート店の登録推進
加 須	(1) 地産地消の取組による消費者への理解の促進 (2) ブランド農産物の P R による地産地消の推進 (3) 地場農産物の加工品の開発
春日部	(1) ブランド農産物の販売促進 (2) 6 次産業化の支援活動 (3) ふるさと認証食品及び県産農産物サポート店の登録推進